



# しおかぜ



## 宮城県大会が開催されます

今年の宮城県大会は、昨年と同様に塩竈ガス体育館（塩竈市体育館）で、9月8日（日）に開催されます。大会参加は年少拳士中心ですが、塩竈道院と仙台杜都道院

## 全国少年錬成大会に行ってきます

8月10日（土）、日本武道館で開催される「全国少年錬成大会」に仙台杜都道院の加藤悠澄拳士が参加します。一人での参加なので単独演武茶帯の部への出場になります。普段の稽古結果、入賞を期待します。



2024.06.23 加藤拳士×齋藤拳士

## 大澤隆管長 縁起

### 平和を考える

は、集計担当となっておりますのでご父兄の皆さん、一般拳士の皆さんには集計のご協力をお願い致します。大会までは、稽古を休まないようご協力をお願い致します。

8月になりました。人々の関心はフランス、パリで行われているオリンピックに向けられていることでしょうか。オリンピックが平和の祭典と言われるように、開催できることが自体が平和の象徴でもあります。国同士の仲が良く、互いの持てる智慧を戦争目的ではなく、世の中を良くし、互いを高め合うことに使う。そこに日々困難に挑戦し、鍛え上げられてきた各国選りすぐりのアスリート達の本気がぶつかり合う。勝敗に関係なく必然的に感動が生まれ、人々の心に何かしら残していきます。今月15日は終戦記念日、終戦から80年近くが経ちます。先人たちの犠牲、努力によつて日本は平和を維持しておりますが、残念ながら世界から戦争は根絶されていません。開祖は「日中の平和なくしてアジアの平和なし、アジアの平和なくして世界の平和なし」と、まずは自分に近いところから理想を築いていくことを説かれています。

また、開祖の家族写真の中に、動物園でラクダと写っている写真と共に、開祖の直筆で次の言葉が残されています。「ラクダを見る度に、戦乱に明け暮れた蒙古での若かりし頃の自分を思う。祖国に住み、子供と遊ぶこの幸福感、体験しない者にはわからぬよるこびである。平和、そして自由。愛する者を持つ楽しみ、これこそ、真の極楽である」と。



2024.08.04 宮城武専(青葉体育館)の様子

## 今後の予定

- ◎ 8月10日(土) 9:30 ~ 少林寺拳法 全国少年錬成大会(日本武道館)
- ◎ 8月18日(日) 9:00 ~ 特別稽古(塩竈道院専有道場)
- ◎ 8月23日(金) 19:00 ~ 僧階取得の為の勉強会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 9月08日(日) 9:30 ~ 宮城県大会(塩竈ガス体育館)
- ◎ 9月14日(土) 13:00 ~ 護身術教室(塩竈道院専有道場)



2024.06.26 仙台杜都道院での稽古で

今、当たり前前にある風景も、多くの犠牲の上に成り立っています。今を生きる私たちは、この世に生を受けていること、自分へと命を繋いでくれた人たちに感謝の思いをもつて日々、一生懸命に生きていきたいものです。このような時期だからこそ、一度立ち止まって、これまでの歴史、当時を生きていた人たちに思いを馳せてみてはいかががでしょうか。そして金剛禅の修行を通して、世界の平和と福祉に貢献する原動力を養っていきましよう。

猛暑厳しき折となりますが、日々の修練によつて免疫力を高め、新型コロナウイルス等の感染症や熱中症を予防しながら、元気に夏を過ごしていましよう。



2024.06.23 特別稽古で 一般拳士

## 中国古典 紹介

時に安んじて順に処れば、哀楽入る能わず

『莊子』

時のめぐり合わせに安じて、自然のなりゆきに従えば、哀も楽もなく、いつさいの束縛から解放されるのだという。流れに逆らわない、自然流の生き方をよしとする考え方に他ならない。

「終身、齊家、治国、平天下」と、大上段

にふりかぶったのが、儒家と呼ばれる人た



2024.08.04 宮城武専で

ちだった。これに対して『莊子』は、「まあ、そうムリをしなさんな」といなししているのである。

われわれも、「治国、平天下」とまでいなくても、やれノルマだ、やれ目標だと、さまざまなムリを強いられながら生きていく。だが、あくせく生きることだけが人生ではない。急には転換がむずかしいとしても、もう少し、のんびりと人生を楽しむ面があつてもいいのかもしれない。

もちろん努力、精進は必要である。だが人生の充足をはかろうとするなら、『莊子』的な側面がもつとあつてもいいということだ。